

災害時のゴミの出し方

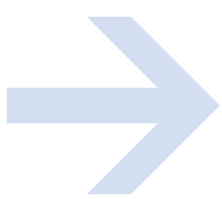


大規模災害が発生すると、一時的に大量のゴミが発生します。
災害から一日も早い復旧・復興を目指すためには、ゴミを正しい場所に
正しい分別で出していただくという市民の皆様のご協力が不可欠です。

災害時のゴミの出し方は、被災状況によって異なります。
災害時に市の防災無線やホームページ等でお知らせしますので、確認してください。

生活ゴミ（平常時と同様に、家庭から発生する可燃ゴミ、プラ・ビニ、資源物、不燃ゴミなど）

可燃ゴミ・衛生ゴミ（紙オムツ、在宅避難時に発生する使用済の携帯トイレなど）



ゴミ集積所

収集日、出し方等を変更する場合があります。
市からのお知らせを確認してください。
可燃ゴミと衛生ゴミは出来るだけ分けて出してください。

資源物、不燃ゴミ、プラ・ビニ、有害ゴミ

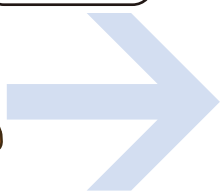
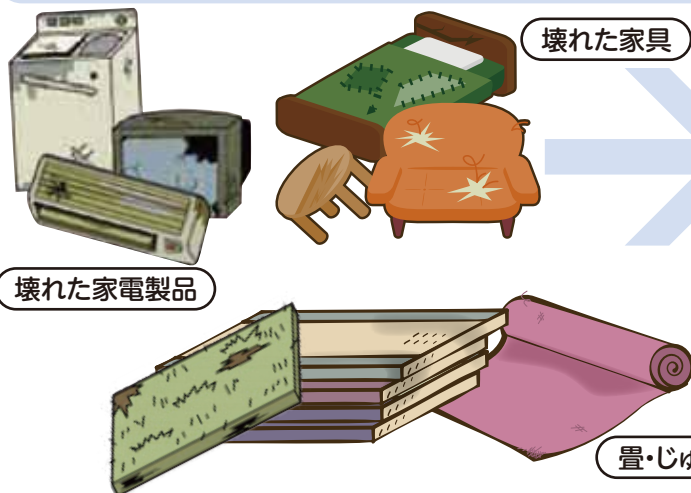


自宅保管

市から、収集についてのお知らせがあるまでは、ご自宅で分別保管をしてください。
災害時は、**片付けゴミ**や**可燃ゴミ・衛生ゴミの収集を優先**する場合があります。

災害廃棄物（被災した住宅から出た壊れた家具や家電、割れた食器、汚れた布団、衣類など）

片付けゴミ



仮置き場

災害でゴミが大量に発生した場合、災害廃棄物(片付けゴミ)専用の**仮置き場**を開設する場合があります。
仮置き場として指定された場所に、しっかりと分別して出してください。



片付けゴミに関するお願い

- 必ず指定された場所に、分別ルールを守って出してください。
- 災害と関係ないゴミは、「片付けゴミ」として出さないでください。

分けたら早い・混ぜたら遅い

右の写真は、様々なゴミが混合してしまっている状態です。排出場所や分別ルールなどを守らずゴミを出すと、分別・収集に時間がかかり、収集・処理費用の増加や悪臭・害虫の発生などによる環境の悪化を招きます。

→ 出し方の悪い例



写真出典：災害廃棄物対策フォトチャンネル
(http://kouikishori.env.go.jp/photo_channel/)
※写真は一部加工をして掲載しております